

■第2期持続可能な行財政運営プラン パブリックコメントへの実施結果について

○第2期プラン(素案)について、令和7年12月1日から令和7年12月26日までの期間でパブリックコメントを実施しました。

【意見提出者】11人 【意見件数】24件

件数	意見の概要	案ページ	意見に対する市の考え方
1	P1で、このプランの目的について書かれている中で、「スマート市役所への転換」とあります。またP5には、「効率的でスリムな行財政運営を実現します。コンパクトで持続可能なまちづくり」と文言もあります。市民の側から言えば、効率重視でスマート、コンパクトという名の下で、大幅な値上げや市民サービスの低下、そして支所地域の共有財産の廃止など時代逆行と感じます。支所地域の人口が減ってきたからという理由で「集約」の名目でサービス財を削っていくのではなく、逆の発想で支所地域の人口を増やすことを考えてみませんか。 今こそ、支所地域それぞれの特色や持ち味を引き出すことが、行政に求められているのではないのでしょうか。例えば、栃尾地区の「トチオノアカリ」は、中学生の願いから10年も続き、2日間で12,000人が訪れる若者主体の熱気のあるイベントです。イベントに関わった長岡大学の学生は、「栃尾の底力みたいなものを見られた。人を寄せ付ける魅力があると感じた。」と、語っています。衰退した繊維産業で使われていた「糸繰り木杵」を使ってランプに見立てていたのは、負の遺産を逆手に取っているようで、素晴らしい発想です。なお、このイベントは「ながおか・若者・しごと機構」が支援しているとのことですが、行政が応援する素晴らしい見本だと思います。 このような地域おこしの具体例があるわけですから、人口減を理由に「スマート」「コンパクト」を目指すのは間違いです。根本から考え直してください。支所地域が元気になってこそ、長岡市全体が豊かな街になれると思います。 なお、パブコメもいいと思いますが、市民生活にとって重要なことですから対面で説明会を開くべきです。市民の声を正面からしっかりと聞いてください。	1、7	市内の各地域では、「トチオノアカリ」のように地域の特色や持ち味を活かして、交流人口の増加や地域の魅力発信に寄与する素晴らしい取組が行われています。これからも、こうした取組を支援し、住民の皆さんが、それぞれの地域で誇りをもって生き生きと暮らせるよう、地域の活性化に取り組んでまいります。 一方、人口減少が一層進む中、将来世代に過度な負担をかけないためにも、行政サービスを持続可能な形で提供できる、スリムで効率的な行政運営の体制を再構築することが必要であると考えています。 そのため、人口減少や市民ニーズの変化などに合わせ、市民サービスを適切な水準や範囲に見直すとともに、デジタル技術を活用して市民サービスの利便性の向上に取り組んでまいります。持続可能で安定的な行政運営を行うため、取組へのご理解をお願いいたします。 なお、本プランは市民生活に幅広く影響を与える取組もあることから、日程や参加者が限定される説明会ではなく、市政だよりやホームページでプランの内容を広くお伝えした上で、パブリックコメントによりご意見を伺うことにしました。
2	(1) 人口構造の変化 2025年から2030年 約4.5% (1.1万人) 減 追記 2025年から2050年 約23.1% (5.9万人) 減 その内の生産年齢人口は約32.2% (4.7万人) 減	2	生産年齢人口が長期的に大きく減少することがよりわかるよう、2ページの本文に追記しました。
3	(3) 今後の財政見通し 2025年から2030年の人口は約4.5%の減だが、歳入は7.3%、歳出は5.2%のそれぞれ減となる。	4	財政見通しは、人口減少以外の様々な状況も踏まえ推計しています。市の歳入や歳出の各項目は、必ずしも人口に連動して増減するものではありませんので、素案のとおりとします。
4	重点項目1 職員数の削減 業務時間の削減（開庁時間の短縮） 目標値に（国や県職員との出向） 直近では職員数約10人の減少なのに120人は現実的なのか？	10	高い目標ですが、目標の達成に向け、着実に取組を進める必要があると考えていますので、素案のとおりとします。
5	重点項目2 DXによる業務プロセスの効率化 目標値にテレワーク実施率:50%（フリーデスクオフィス スモール庁舎）	11	テレワークは、職員の柔軟な働き方を促進し、時間を有効活用して効率的に業務を執行することを目的に推進しています。 本市においても、30ページの「生産性向上を目的とした働く環境の整備」の取組の一つとして、働き方の変化や職員数の推移に応じて、庁舎規模や配置を柔軟に見直すとともに、一部の部署においてはフリーデスク化を進めています。当該箇所は、取組推進のための目標値を示す項目であるため、素案のとおりとします。
6	11ページ目重点項目2のDXによる業務プロセスの効率化について「生成AIなどのデジタルツールの活用により、定型業務の自動化・効率化を図ります。」とあります。近年開発・利用されている生成AI(画像、音楽、動画生成やChatGTPなど)はツールに使用されているデータセットなどの権利問題がクリアになっていないブラックボックスの状態であり、更に生成するために入力した情報を生成AI企業が適切に扱うのか、他の利用者が生成AIを利用したときにこちら側が入力したデータをそのまま出力する恐れがあるなどの問題点が多くあります。 また、生成された画像や動画などが他の著作物の権利を侵害する恐れ、ChatGTP等が生成した文章がデタラメなものである恐れも無視できません。それらを一つ一つ人の手で確認作業を行うのでしょうか。そのような生成AIを使用して定型業務の自動化、効率化を図るのは疑問があります。他の行政や団体が生成AIを用いたことでSNS炎上をした事例もあります。28ページ目には「AI活用による生産性の向上」と記載がありますが、上記の理由から生成AIでは適切な生産が望めません。 定型業務の自動化・効率化にデジタルツールを使用するのは構いませんが、生成AIを使用するという点を見直した方が良いと考えます。具体的に何に対して〃生成〃AIを用いたのか資料からは読み取れないため修正案はありません。 例えば医療業務で使用されるAIは患者からの承諾を得たデータを元にした画像解析による病気の早期発見がありますが、こちらは〃生成〃での利用ではありません。	11、28	生成AIの利活用を推進するにあたり重要な視点であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。 なお、業務で生成AIを使用する際は、「長岡市生成AI利用ガイドライン」に基づき、生成AIを安全かつ効果的に利用してまいります。
7	重点項目4 公共施設の再編 2020年24,593円、2025年25,547円に対して2030年20,033円は現実的か？	13	令和8年度からの第2期プランでは、管理運営の実態をより正確に把握するため、歳出から使用料等の歳入を差し引いた額を市民1人当たりの管理運営経費として指標にしています。そのため、歳出のみの数値と比べて小さくなっています。 目標の達成に向け、取組を進める必要があると考えていますので、素案のとおりとします。

件数	意見の概要	案ページ	意見に対する市の考え方
8	看護師をしております。項目6について、とてもいい案の柱がいくつもありましたが、医療とは別の話なのでしょうか？もし考えていただけのならと思いついて投稿させていただきました。患者様が病院を退院するにあたりケアマネジャーや介護申請のための調査員の派遣など、退院調整にかかる時間が膨大な業務となっております。診療報酬上で重要な業務に位置付けされているためおざなりにはできませんが、zoom会議や動画での確認などにシステム変更できないもののでしょうか。それは国や厚労省の部門なののでしょうか。病院では看護師の人手不足で患者様の安全を守り切れるか危うい状況です。	20	介護保険制度では、要介護認定のための認定調査は、「目に見える」「確認し得る」事実によって調査を行うこととされているため、原則、対面での調査をお願いしています。引き続きご協力をお願いいたします。その他の退院調整については、診療報酬上の取り扱いとされますので、厚生労働省関東信越厚生局新潟事務所等にご確認ください。
9	働き手不足の解決にはDX化と言われても資金がない場合、どうしたら良いのかわかりません。コンサルしようにもお金がない場合は病院にかけあっても全く焼石に水です。市で、AIコンサルシステムなど使って欲しいです。知識及ばず愚問で恥ずかしい限りですが、この先の行く末を案じる一市民の無知の叫びを聞いてくださりありがとうございました。	20	AI導入による診断や業務の補助は、患者の安全を向上させるだけでなく、医療従事者の負担を軽減することが期待されています。一方で、病院ごとに状況が異なり、必要としている支援が一律に同じではないため、市が医療機関にシステムを導入することは難しいと考えられます。現状、市による支援策等はありませんが、医療提供体制を確保するため、現場にどのような支援が必要かという視点から、市として何ができるか、医療機関とさらなる意見交換を進めてまいります。
10	まずは、人口減に合わせた市会議員の削減をお願いしたい。新潟市の市会議員の数に比べて人口比で多すぎる、又、国会議員数も減に動いておりタイミング的に良い。	21	頂いたご意見は、議員定数検討の参考にさせていただきます。
11	<p><背景及び目的> 人口減少に伴う公共施設等の削減等について コロナ禍と高齢化を経て、地域の繋がりは消えつつあるのが現状です。であれば、今こそ地域力の活性化を目指すべきだと思います。内閣府は、高齢社会対策・孤独孤立対策として子ども家庭庁と共に、「地域の居場所づくり」を推進しています。新潟市の「地域の茶の間」は、その先駆的「居場所」です。年齢等の制限が無く、現在は全国各地に「えんがわ」等の名称でその存在の重要性は大きいと思います。その存在は、単なる支援者と被支援者の関係ではなく、介護・福祉・教育の現場でも有り得ますが、犯罪や医療の重篤化を防ぐ可能性も有ると考えます。長岡市においても、現在小学校区毎に30カ所以上存在しているコミセンに必ず年齢性別の制限のない「居場所」「カフェ」を設置してはどうでしょうか？誰でも利用できる常設カフェ形式として、更に空き家を利用した居場所づくりに市が補助金を出すというのはどうでしょうか。新潟市は、町内に1カ所を考えているという話を聞きました。長岡市も今までのように社協に任せるのではなく、市民と共に考えることから始めませんか。</p>	26	ご意見のとおり、人口減少社会において、地域活性化の取組は重要であると考えています。本市では、各地域のコミュニティセンターにおいて、住民が主体となり様々な取組を実施しており、一部のコミュニティセンターでは、交流カフェなども開催しています。頂いたご意見は、今後の施策検討の参考にさせていただきます。
12	<p>まずは現状分析。かつては栄華を極めた大手通りは金融機関と公共機関のみで買い物ができる場所は2カ所のみ。かつての商店街は時代の流れに流され、後継者のいない高齢化により徐々に廃業の憂き目。一般住宅も子供家族は駐車場を備えた住宅を求めて郊外へ。実家は老夫婦のみの世帯となり、地域は子供の姿を見ることのない老人ばかりの世帯へと変貌してゆく。郊外のショッピングセンターを中心とした活性地域とかつての旧市内は買い物に不便な老人だけの古い街並みへと変化をとげる。この様な地域をいかにして活性化させたらよいか？長野市内を歩いても虫歯の跡のように其処此処に空き地が目立ち、駐車場だけが目立っていました。旧市内も決して住み良い地域ではなくなりつつあります。</p> <p>試案は2つ①買い物に便のよい地域に老人用の低層（2階建てくらい）住宅を作り住宅の交換を行い旧市内に会社やマンションを誘致して再開発にあたる。年寄りスーパーと病院とバスの便を考えてあげれば雪の始末もせずとも済み助かるはず。あとは年寄り用のコミュニティと朝のラジオ体操やゲートボールのできる広場があれば運動もできます。車の使用頻度も減るはずですから、交通事故が減ることも期待できます。</p> <p>②子供の少ない小学校の統合の推進 子供のいない地域に広い小学校は迷惑千万。避難所も兼ねているのかもしれませんが、もっと便利で親しみのある避難場所にして欲しい。例えば神田小学校、表町小学校、中島小学校は神田と中島に統合し、表町小学校を廃校にする。かつての栄華や栄光と、校長先生の教育委員会への出世コースなどは時代と共に変わらなければならない。表町小学校の跡地に1階をスーパー、2階を避難所として兼用も出来る市の出先機関（年寄りには年金問題と葬儀後の手続き問題が大きな問題）と、年寄りに必要な眼科、内科、整形外科があれば事足ります。</p> <p>要は、今後必ず発生してくる空き家問題をどうするか。観光地ではない長岡市には民泊は必要ない。あんな無責任な施設をなぜ許可したのか。次の問題が必ずわき出てきます。若者と年寄りの融合を考えるのであれば、表町小学校の跡地に1階をスーパー、2階を保育園と年寄りの交流スペースを設け好きな年寄りは園児の世話の補完もやってもらい、園児と年寄りの距離を縮める方法もあります。歩いてみて、比較的道幅は広く歩きやすい長岡市です。年寄りは車に乗せるよりは歩かせた方が健康にも寄与します。新発田市は震災から免れた関係で道幅は狭く、お城があったせいで道はくねくねと歩きにくい。村上市内は歩いているのは少ない観光客だけで、市民の移動は全て車頼みで、誰も歩いていない。たまに都内を歩くと結構川沿いに散歩コースも整備されています。やはり歩いて行ける距離に買い物ができる場所が欲しいものです。車が無くても住み続けられる都市づくりをお願いしたいものです。この年寄り問題が片付かないと長岡市の将来は無いと思います。観光地として大きく前進できない以上、観光客にお金を落としてもらうことは望めません。あとは企業誘致に求めるしかありませんね。まずは雪を溜め込んだデータセンターの建設。長岡市は夏の暑さと冬の雪の活用に生命線があります。太陽光発電にしても現在では丸められるようですから、電信柱にたくさん巻きましょ。これからの猛暑に備えて、猛暑で発電もしたいものです。住み良い長岡市を考えるにあたり、車のある人と車が無いもしくは運転させたくない人に（年寄り）に分けて考えなければなりません。年寄りに一軒家は無駄です。テレビを見る部屋と寝る部屋があれば十分。たくさんあっても物置化するだけ。疲れましたので、考えることを終わらせて頂きます。</p>	26、36	<p>児童数の減少は今後も市全体で進み、小規模校の増加が予想されます。近隣校へ通学が可能な子どもの少ない小学校は、教育環境の向上に重点を置き、児童の協調性や社会性を育む集団活動ができる環境づくりを推進してまいります。</p> <p>そのほか頂いたご意見は、今後の施策検討の参考にさせていただきます。</p>

件数	意見の概要	案 ページ	意見に対する市の考え方
13	P36では、施設などの廃止や縮小など今まで市民に提供してきたものをどんどん削っています。市民の共有財産を削っていくことは、納税者である市民へのサービス低下と言わざるを得ません。例えば、和島の旧島田小学校が民間のレストランになりましたが、お金に余裕がなければ行けません。閉校になった学校の活用にしても、売却や譲渡ではなく、地元の人たちが気軽に立ち寄ることができて、地域を維持するために公平に活用されなければならないと思います。	26、36	人口減少や市民ニーズの変化、施設の老朽化や維持管理費の増加を踏まえると、今ある全ての公共施設を従来どおり維持していくことは困難であり、変化に応じて機能とサービスを見極め、効率的・効果的な施設管理を行うことが重要であると考えています。 なお、旧学校施設等の利活用においては、避難所機能や地域への貢献にも配慮した活用方法を検討してまいります。
14	初めて御意見を述べます。県道や市道及び河川等の草刈りや側溝の清掃関係が業者などに依頼していると思いますが人手不足で対応が出来ない状態ではないでしょうか？一部河川敷等は近隣町内会に委託して対応していることも聞きました。そこで市で管理する道路や河川敷等の法面や側溝等、近隣町内会に委託可能であれば委託を拡大して対応してみたいかでしょうか？	26、37	市道や側溝、河川（水路）の清掃や除草等の日常管理については、基本的にはそれらを利用する地域の皆様から町内のクリーン作戦等でご協力いただいております。市はゴミの処分等で地域の活動を支援しています。 ご意見にあるように、近年、建設業界の人手不足がしばしば話題となっているほか、少子高齢化により、コミュニティの維持が難しくなっている地域があります。 インフラの適切な維持管理にあたっては、地域との連携のあり方を含め、これまで以上に広い視点からの検討が必要であると考えており、頂いたご意見は、今後の施策検討の参考にさせていただきます。
15	昨今小さい公園は沢山できていますが、住宅地にあったり、公園としてあっても遊具が微妙だったり、ボールが使えなかったりと。年配の方やご近所にお住まいの方はいろんなご意見あるとは思いますが、将来長岡市を盛り上げてくれる子ども達の成長を妨げている気がしております。 ・ボールが思い切り使える公園 ・地面がやや柔らかい素材 ・頑丈な建物の室内練習場でなくてもネットが張られていて屋根付きでボールが使える ・ベンチがたくさん置いてある ・ぐるっと一周散歩や自転車にも乗れる のような下校後、思い切り遊べる公園を作っていただきたいです。花園にある花園公園も、みはらし公園も、運動公園も勿体無いです。	26、37	子どもたちが健やかに成長できる環境を整えることは、長岡市の未来を支える重要な課題であると考えています。 地域の皆様の声を伺いながら、子どもたちが安心して遊べる環境と、近隣住民の方々が快適に過ごせる公園づくりに取り組む中で参考にさせていただきます。
16	その他…なぜ、水道や下水道等の社会インフラを取組まないのか？ 全国的に漏水事故等があり、経年劣化対策の必要性があると思います。	26、37	ご意見の上下水道等の社会インフラについては、37ページの柱6「人口減少などに対応した公共建築物・インフラ施設の適正管理」の主な取組と行程表に施策の方向性を記載しています。 水道管を含む水道施設については、「長岡市水道事業経営戦略」に基づき、計画的な更新・改築や適正な維持管理に取り組んでいます。 また、下水道施設については、「長岡市下水道ストックマネジメント計画」に基づく予防保全型の維持管理を実施しており、施設の長寿命化と改築更新費用の低減化・平準化を図っています。 本プランにおける、取組内容がより伝わりやすいように、26ページの本文に一部追記しました。
17	P38では、公共施設(体育館や図書館、美術館、子育ての駅など)の開館日や開館時間の見直しもサービス低下そのものです。市営駐車場は、どうなるのでしょうか。民営化されれば、安全軽視の人員削減や値上げが推測されます。そして、儲からなくなれば、民間企業は撤退するのです。ここでもサービス低下です。市政だよりを見ると、市営駐車場の混雑状況を電光掲示板で知らせていたのを来年度からやめるようですが、小さなサービス低下が徐々に始まっています。	26、38	開館日・開館時間の見直しにあたっては、各施設ごとに利用者の少ない時間帯や営業日を洗い出し、利用者数と管理運営費とのバランスを踏まえた上で慎重な判断を行うとともに、丁寧な説明を行っていきたいと考えています。 民営化については、民間の持つ経営ノウハウや技術力、柔軟な発想を取り入れることで、サービスの向上や効率化が可能となり、施設の魅力や利用者の満足度向上につながる場合には、導入を検討してまいります。
18	P30のキャッシュレス決済やオンライン申請など便利なようですが、その手段を持たない人は恩恵にあずかれないのは、公平性に欠けるとおもいます。	30	キャッシュレス決済やオンライン申請を推進するにあたり配慮すべき視点であると考えていますので、今後具体的な施策を展開する中で参考にさせていただきます。

件数	意見の概要	案 ページ	意見に対する市の考え方
19	<p>将来を見据えた経営的な視点による財政運営 P34には、使用料や手数料の適格化や上下水道料金の改定とありますが、結局は値上げです。そもそも大手通の再開発(アオーレも含めミライエなど)にかけすぎた結果、財政も厳しくなったのだと感じています。</p>	34	<p>各公共施設や行政サービスに要する経費は、実際に利用する人が納める使用料・手数料と市の一般財源(=利用しない市民分も含めた税金等)とで賄われています。そのため、使用料等が適正な水準でないと、一般財源の負担が相対的に増えることになります。 長岡市では、多くの使用料等を過去20年以上改定していませんので、このたび、約20年間の物価の変動状況等を踏まえ、あらためて現状の費用に見合った使用料等となっているかを確認し、必要に応じ料金を見直して利用者(受益者)の負担の適正化を図っていきます。</p> <p>また、上下水道事業は他の行政サービスとは切り分けた独立採算の会計として運営しているため、上下水道料金は施設や管路を維持管理し、更新する目的で徴収しています。今後、施設の老朽化等に伴い多くの費用を要することが見込まれる一方で、将来にわたり良好なサービスを維持していく必要があることから、料金改定によって投資と財源の収支均衡を図り、経営健全化に取り組むとともに、市民の安全・安心な生活を堅持するものです。 以上のようなことから、受益者負担の適正化のために使用料・手数料の改定を検討するものですので、ご理解ください。</p> <p>なお、アオーレ長岡及び米百俵プレイスミライエ長岡の整備には国の補助金等を最大限活用しており、財政運営全体に大きな影響を与えるような負担はありませんが、今後も引き続き健全な財政運営に努めていきます。</p>
20	<p>P35の事務事業の見直しでは、どのような見直しがされるのか具体的に書いてないので、その内容が分かりません。項目の羅列だけで、議会ではどのように審議されるのでしょうか。</p>	35	<p>「事務事業の見直し」は様々な取組を総括して記載したものです。具体的な取組は、業務手法の効率化から事業内容の再編まで多岐にわたり、取組内容の多くは今後、議案や予算案を通して、議会で審議されます。</p>
21	<p>長岡市高町付近に火葬場がありますが、その道路の入り口脇に広大な空き地になっているので、食品関係の商業施設を建設して下さい。</p>	-	<p>ご意見を頂いた土地は、墓地公園(都市公園)の区域であり、開発などができません。頂いたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
22	<p>国では色々な補助金やら還付やらありますが、私の時代は子供給食無償化、高校学費無料も保育園もぜーんぶ支払いまして今や息子は学費返済を抱えて給料も上がり夜勤までして稼いでます。結婚や子育ての状態ではなく親は助けてあげられないし、1番何にも補助には対象外です今の子育ての方々がいいなあって感じです。</p>	-	<p>頂いたご意見は、今後の施策検討の参考にさせていただきます。</p>
23	<p>山古志から長岡市に移動在住して来ましたが、先祖代々の山林がありますが、全く不要になるので私どもの代で終活したく、所有地を国か長岡市の所有地に名義変更をして頂きたいです。</p>	-	<p>新潟地方法務局の不動産登記部門へご相談ください。</p>
24	<p>今回、政界で、何かを1%を下げて、消費税を1%上げると報道されましたが、意味ないとおもいませんか？ そのように、されるのなら、一律現金配布支給の方がいいです。</p>	-	<p>頂いたご意見は、今後の施策検討の参考にさせていただきます。</p>